

皆さまこんにちは。当たら前日あたり前日突然に奪われた、あの瞬間に、進んでいかねばなりません。安全安心で希望復興に向けて立ち上がったあの時の想いを胸に、進んでまいります。

令和5年第1回定例会(内容要約版)

答弁 令和4年の救急出動件数は前年より16.8%増の6万7377件により過去最多を記録しました。高齢化の進展とコロナ感染者等の搬送の増加も影響したものと考えています。

橋本の質問 デイタイム救急隊の運用実績と今後の増加について伺う。

答弁 昨年4月に充足したデイタイム救急隊は、10ヶ月間で約800件出動しており、出動件数が一定程度抑制されたものです。又、隊員の多様な働き方にもつながっており、効果的な運用が図られていると認識しています。体制強化の手法の1つになるものです。

橋本の質問 今後の救急体制強化について伺う。

答弁 本市では、総合的消防力の整備方針を策定し、体制強化を図ってまいりました。高齢化の進展等に伴う地域ごとの需要の分析を行った上で、必要な救急体制の強化を総合的に図ってまいります。

橋本の質問 泉民会館跡地に対する仙台市としての望ましい利用について伺う。

答弁 定洋寺通りは市の都のシンボルロードとして市民に愛される賑わいの舞台です。このエリアを若い世代が創造性を高め合う場にアップグレードしたいと考えております。今後とも、知事と率直な意見交換を重ねたいと存じます。

橋本の質問 仙台市の大学連携の取り組みと今後の事業展開について伺う。

答弁 地域課題の解決や活力ある地域づくりに向けて、泉区内及び近隣6大学と連携協定を結び、学生主体の特色ある活動への助成など、支援を行ってまいりました。今後は若者の発想や行動力を活かすため、ワーキンググループを立ち上げ、地元商工事業者と連携し、賑わいづくりを実践してまいりたいと考えています。

橋本の質問 仙台市の救急業務の現状について伺う。

答弁 予備救急車整備事業の事業概要を伺う。

答弁 常時運用している28台の救急車に加え、予備の救急車を活用した臨時救急隊を編成して対応するものです。予備の救急車を現在の9台から11台に増強いたします。

橋本の質問 臨時の救急隊の隊員を、どうやって確保しているのか伺う。

答弁 総務などの事務部門から資格を有する職員の応援や週休者を参集させて対応しています。

橋本の質問 令和4年において、この臨時的対応をどの程度実施したのか伺う。

答弁 編成状況は、延べ238隊で464件の出場となっております。

橋本の質問 30分以上搬送先が決まらない、搬送困難の状況について伺う。

答弁 昨年度には統計開始以来最多となる221件を記録し、その後も100件を超える運が続きました。

橋本の質問 救急事業の中で、ポンプ車を活用するIPA連携の状況と、今後の想定を伺う。

橋本の質問 今後更に救急出動件数が増加するものと考えますが、救急需要予測を伺う。

答弁 令和7年に最大6万7377件、令和12年には6万7千件以上と予測しております。

橋本の質問 「総合的な救急体制の強化」を考えた時、デイタイム救急隊の増強が不可欠ではないか伺う。

答弁 今後とも増加傾向になると見込んでおり、市内の救急需要の動向を的確に捉えながら、総合的救急体制の強化に取り組みたいと考えています。

- 橋本けいいちプロフィール**
- 〇仙台市議会 都市整備建設常任委員会 委員
 - 〇仙台市議会 文化芸術・スポーツ振興調査特別委員会 委員
 - 〇仙台市 介護保険審議会 委員
 - 〇仙台市 陸奥物産審議会 委員
 - 〇仙台市 兼利師会 顧問
 - 〇仙台市 早起き野球協会 顧問
 - 〇仙台市 都市整備建設常任委員会 委員
 - 〇仙台市 国民健康保険運営協議会 副会長
 - 〇仙台市 地域包括支援センター運営委員会 委員
 - 〇仙台市 食品衛生協会 顧問
 - 〇宮城県 トライアスロン協会 顧問
 - 〇自民党 仙台市支部連合会 副会長
 - 〇昭和41年 仙台市泉区生まれ/宮城県仙台市第三高等学校卒業/東北学院大学法学部卒

身近な市政情報

1 政府の電気ガス価格激変緩和対策により都市ガス使用料が値引きされています

仙台市ガス局では世界的なエネルギー価格の高騰によるガス料金の上昇への負担緩和策として、都市ガスの使用料に応じた料金の値引きを行っております。

1. 特別措置の適用対象となるお客様

- (1) 一般のご家庭
- (2) 都市ガスの年間契約量が1,000万m³未満の企業

2. 特別措置の内容

- (1) 対象期間
令和5年2月検針分から10月検針分まで
- (2) 値引き単価(税込)
使用量1m³あたり30円(令和5年10月分のみ15円)
- (3) 標準家庭の値引き額
1月あたり870円(令和5年10月分のみ435円)

令和5年度泉区内の主要事業

〈人の暮らしを支え、未来の担い手を育む事業〉

- ① すこやか子育てプラン推進
根白石児童館移転改築 274,208千円
- ② 不登校対策推進
七北田保育所と合築による連広指針センター建設 45,529千円
- ③ 学校施設整備
黒松小、七北田中学校校舎建築 592,506千円
- ④ 地域施設整備
高森市民センター大規模修繕 332,650千円
松蔭市民センター大規模修繕 33,940千円
黒松市民センター大規模修繕 13,568千円
長命ヶ丘市民センター大規模修繕 14,551千円
- ⑤ 文化センター整備
泉文化創造センター(イズミティ21)大規模修繕 3,309,339千円
- ⑥ コミュニティ施設整備
寺岡5・6丁目集会所修繕 5,544万円
南中山3丁目集会所修繕 7,660千円
友愛町集会所修繕 1,066千円

⑦ コミュニティセンターや地区集会所などの緊急的修繕 6,949千円

⑧ 地域生活圏連立整備 25,952千円

⑨ 公園、街頭などの修繕

〈すべての人が活躍できるまちの魅力を発信する事業〉

- ⑩ 地域づくりパートナーシップ推進 4,037千円
- ⑪ 泉区西部活性化 12,080千円
- ⑫ 泉中央地区活性化 356,300千円
- ⑬ 道路新設改良 206,909千円
- ⑭ 歩道整備事業(泉塩釜線)
- ⑮ 集会所建設補助

活動レポート



2023年1月
仙台市外郭部の農地の状況確認
と農地転用の調査を担当委員の
方々と一緒に進んでいます。



2023年2月
宮城県が取り組むCDXの取り組み
について仙台市の担当者の方々と
状況を確認しました。



2023年3月
春期間にかけ進められてきた
都市計画道路環状線白石岩(若林区
の開設)の工事、再丁工が順調に
進んでいます。

皆様のご意見ご要望等ぜひしお聞かせ下さい。お待ちしております。

TEL090-1063-8833 FAX(022)376-5232 Eメール: hashihashi@nekettsu.net

仙台市の令和5年度予算から、市民の皆様暮らしに
直接関連のある新しい事業をまとめお知らせします

子育て・教育環境を充実させます

子ども医療費助成所得制限撤廃 3億9,407万円

中学校3年生卒業までの子育て家庭における経済的な負担を軽減するため、子ども医療費助成において設けている所得制限を、令和5年4月から撤廃します。

伴走型相談支援と応援給付金の一体的実施 7億9,626万円

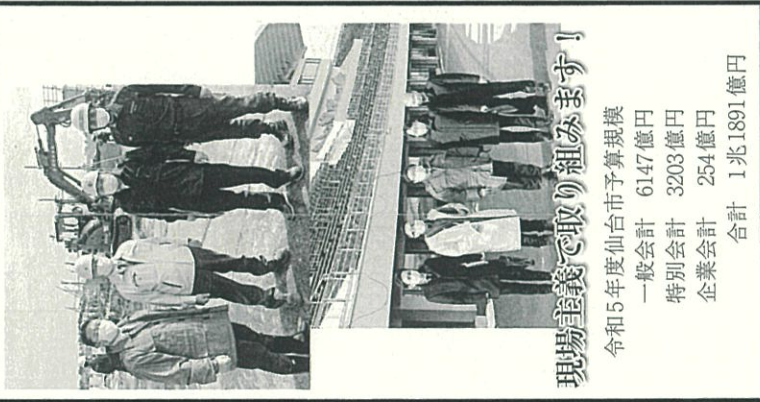
妊娠8か月頃の面談の新たな追加や子育てに係る継続的な情報発信を強化するとともに、出産育児見聞進用品の購入や子育て支援サービスの利用負担の軽減に向け、妊娠時5万円、出産時5万円の給付金を支給します。

未就園児の定期的な預かりモデル事業 3,642万円

定員に空きのある保育所等において、未就園児を対象に、週1～2日程度の定期的な預かりモデル事業を新たに実施し、地域における未就園児及びその保護者を対象とした子育て支援を行います。

デジタルドリル導入 7,668万円

一人ひとりに応じた学習の支援や授業の改善に向け、学習履歴の見え化などによる児童生徒の学力向上を図るため、市立小中学校全校において、紙ドリルからデジタルドリルに切り替えます。



現場重義で取り組みます！

令和5年度仙台市予算規模	
一般会計	6147億円
特別会計	3203億円
企業会計	254億円
合計	1兆1891億円

市民福祉や住民サービスを向上させます

区役所窓口のDX推進(書かない窓口) 1,054万円

区役所の窓口において各種の申請書を記入する際の負担を軽減するため、マイナンバーカードに登録されている情報は手書きでの記載を省略できるような支援システムを、区役所に導入します。

休日夜間救急オンライン診療活用 1,597万円

高齢化の進展により増加が見込まれる救急医療の需要や救急搬送の要請に対応するため、軽症の救急患者が土曜・休日及び平日夜間に受診できるオンライン診療を始めます。

子ども・若者支援ネットワークの構築 1,833万円

主に10歳代後半から39歳までの就労等に不安を持つ若者を対象に、カウンセリングや各種講座、就労体験などを通じた支援を行い、子ども・若者支援の充実を図ります。

ひきこもり支援ニーズ調査 4,170万円

ひきこもりなど、社会とつながることができない状態にあり、支援が必要な方々に適切な支援を届けるため、幅広い年代層のひきこもり状態にある方の実態や支援のニーズの把握に向けた調査を行います。

観光客の受け入れ促進や地域経済の活性化を進めます

訪日旅行再開を契機としたインバウンド推進 7,189万円

仙台市を訪れる外国人観光客の早期回復を図るため、仙台・東北の魅力を活用した旅行商品の造成や販売を行うとともに、タイ・台湾において市長などによるトップセールスを行います。

中心部商店街活性化促進 1,670万円

中心部商店街が賑わいを創出するために行う実証実験を支援するとともに、アータの活用により本市を訪れる方の増加や回遊性の向上に向けた施策の検討を行います。

FAX

022-376-5232

橋本 けいいち 仙台市議会議員



いつでもご連絡ください。お待ちしております。

ご記入者 市民意識調査・アンケートにご協力下さい。ご連絡・報告が必要な場合、下記へご記入下さい。

フリガナ
お名前

自宅住所 〒

男
女 区
電話 - 携帯() -

●ご意見・ご要望をお寄せ下さい

仙台市のこういった事について疑問等をお持ちですか。

- 新型コロナウイルス対策について
- 仙台市の財政について
- 仙台市の健康づくりについて
- 救急や医療について
- 国民年金について
- 町内会運営について
- セクシャルハラスメントについて
- 緑化や公園について
- 中小企業への融資について
- バリアフリーについて
- 小中学校について
- 歴史や文化について
- 税金について
- 福祉の取組みについて
- 介護予防や介護保険について
- 子育てについて
- 防犯や防災対策について
- 下水道・雨対策について
- ごみの取扱について
- 雇用について
- 観光について
- 地下鉄・バスについて
- 道路の整備について
- 地震対策について
- 市民センターについて
- 国際交流について
- その他

●ああして欲しい!!こうして欲しい!!

仙台市政やその他、気になることを詳しくお聞かせください。

ありがとうございました。実現できるように頑張ります!!

橋本けいいち 連絡先 〒981-3213 仙台市泉区南中山2-42-2-101 TEL090-1063-8833・FAX022-376-5232

※個人データは、議員活動の連絡などに使用し、それ以外での使用は一切いたしません。

仙台市議会議員(泉区選出)5期

橋本けいいち 熱血通信

市政活動報告【令和5年 新春号】

〒981-3213
仙台市泉区南中山2-42-2-101
TEL090-1063-8833
FAX(022)376-5232
Email:hashihashi@nekketsu.net



皆さまこんにちは。当たり前だった日常が突然に奪われた、あの震災から12年を迎えました。復興に向けて立ち上がったあの時の想いを胸に、進んでいかねばなりません。安全安心で希望に満ちた仙台のまちづくりに力尽くしてまいります。

令和5年第1回定例会一般質問(内容要約版)

橋本の質疑 市民会館跡地に対する仙台市としての望ましい活用について伺う。

答弁 定例通りは杜の都のシンボルロードとして市民に親しまれるための舞台です。このエリアを若い世代が創造性を発揮する場にアップグレードしてまいります。今年度も、知事と率直な意見交換をいたします。

橋本の質疑 仙台市の大学連携の取り組みについて伺う。

答弁 地域課題の解決や活力ある地域づくりに向け、市内の大学と連携協定を結び、学生団体の呼びかけなど、支援を行ってまいりました。今後は若者の発想や能力を活かすため、ワーキンググループを立ち上げ、地域と事業者と連携し、賑わいづくりを実践してまいりますと考えています。

橋本の質疑 仙台市の救急業務の現状について伺う。

答弁 令和4年の救急出場件数は前年より16.8%増の6万737件により過去最多を記録しました。高齢化の進展とコロナ感染者等の搬送の増加も影響したものと考えています。

橋本の質疑 デイタイム救急隊の運用実績と今後の増加に

関しては、令和4年度に発定したデイタイム救急隊は、10ヶ月間運用しており、出場件数が一定程度抑制され、隊員の多様な働き方にもつながっており、効果が図られていると認識しています。体制強化の手法の1つになるものです。

橋本の質疑 今後の救急体制強化について伺う。

答弁 本市では、総合的消防力の整備方針を策定し、体制強化を図ってきました。高齢化の進展等に伴う地域ごとの需要の分析を行った上で、必要な救急体制の強化を総合的に図って参ります。

令和5年第1回定例会予算等審査特別委員会質疑(内容要約版)

橋本の質疑 予備救急車整備事業の事業概要を伺う。

答弁 常時運用している28台の救急車に加え、予備の救急車を活用した臨時救急隊を編成して対応するものです。予備の救急車を現在の9台から11台に増強いたします。

橋本の質疑 臨時の救急隊の隊員を、どうやって確保しているのか伺う。

答弁 総務などの事務部門から資格を有する職員の応援や週休者を参集させて対応しています。

橋本の質疑 令和4年において、この臨時的対応をどの程度実施したのか伺う。

答弁 編成状況は、延べ238隊で464件の出場となっております。

橋本の質疑 30分以上搬送先が決まらない、搬送困難の状況について伺う。

答弁 昨年度には統計開始以来最多となる221件を記録し、その後も100件を超える週が続きました。

橋本の質疑 救急事業の中で、ポンプ車を活用する「PA連携」の状況と、今後の想定を伺う。

答弁 令和4年のPA連携の出場件数は、1870件で救急車よりも現場に早く到着した件数は528件でした。効果が高いことから今後も継続して取り組んで参ります。

橋本の質疑 救命効果の向上を目的に「ライブビュー119」を導入しました。運用実績等を伺う。

答弁 現場の状況をスマートフォンで送信してもらうシステムだが、効果的な初動対応につながるのです。一方、交通事故や火災などの程度映像送信の協力を求めるべきかは検討を要するものです。

橋本の質疑 今後更に救急出場件数が増加するものと考えますが、救急需要予測を伺う。

答弁 令和7年に最大6万3千件、令和12年には6万7千件に上ると予測しております。

橋本の質疑 「総合的な救急体制の強化」を考えた時、デイタイム救急隊の増強が不可欠ではないか伺う。

答弁 今後も増加傾向になると見込んでおり、市内の救急需要の動向を的確にとらえながら、総合的救急体制の強化に取り組んで参ります。

橋本けいいちプロフィール

- 仙台市議会 都市整備建設常任委員会 委員
- 仙台市 国民健康保険運営協議会 副会長
- 仙台市 地域包括支援センター運営委員会 委員
- 仙台市 食品衛生協会 顧問
- 宮城県トライアスロン協会 顧問
- 自由民主党仙台市区支部連合会 副会長

- 仙台市議会 文化芸術・スポーツ振興調査特別委員会 委員
- 仙台市 介護保険審議会 委員
- 仙台市 廃棄物対策審議会 委員
- 仙台市 薬剤師会 顧問
- 仙台市 早起き野球協会 顧問

昭和41年仙台市泉区生まれ/宮城県仙台第三高等学校卒/東北学院大学法学部卒



ホームページ

連絡
使用